

2010年10月28日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

11月11日「介護の日」に

JR岐阜駅前 で 学生がバラの花を贈る啓発活動を行います

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、11月11日の「介護の日」に、身の回りで介護をしている方へ感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を展開しています。このキャンペーンは学生を中心として毎年行っており、ことしで3年目になります。今年もJR岐阜駅に赴き、一般の市民の皆さんに対して、介護の日の啓発とともに、バラの花を贈る運動を広げます。今年はまだ、バラの花を贈る運動を広げるために、募金活動も展開しています。さらに学内では、介護の日に先駆けて11月8日より、関キャンパスにて「介護の日」展を開催します。県内の実習施設で行われている介護の様子を写真パネルで展示。介護について理解を深める企画展となっています。（同月19日まで）。

なお、啓発活動の参加者は、本学で介護福祉士などを目指して介護の学びをしている学生や教職員で、介護の日には約120人（うち学生100人程度）が参加する予定です。

記

【介護の日】バラを贈る啓発活動

- 日 時 2010年11月11日（木）午前10時～午後3時
- 場 所 JR岐阜駅前オープンデッキ2階（岐阜市橋本町1） ※詳細は別紙にて
- 参加者 中部学院大学 短期大学部 社会福祉学科ならびに専攻科 教職員
- 経 緯 本学では、介護を学ぶ学生が、実習活動として実習先に行く前に激励会を行っていますが、その際、バラの花を贈り、学生を励ましてきました。学科開設以来、20年以上にわたり、本学の伝統として受け継がれています。一昨年に介護の日が制定されたのを機に、介護されている方に感謝の意を伝えることを目的に、学生が主となってバラの花を贈り、現在もその活動を続けています。
- 後 援 岐阜県、岐阜市、岐阜県社会福祉協議会

【募金活動（学内外で実施）】

10月23日（土）たのしみん祭（関キャンパス）

11月 3日（水）学びの森フェスティバル（各務原キャンパスほか）

11月11日（木）JR岐阜駅オープンデッキ

※寄付金は、介護者に贈るバラの購入代、啓発活動の経費などに当てます。

【「介護の日」展】

- 日 時 11月8日（月）-19日（金）
 8日12時50分より、オープニングセレモニーを開催

- 場 所 関キャンパス ピュアライブラリー
 （関市桐ヶ丘二丁目1番地 電話 0575-24-2211）

- 内 容 ① 学生手づくりの「介護の日」ポスターの展示
 ② 介護施設から募集した写真、パンフレット、施設だよりなどの展示
 ③ フィリピン（海外研修）で実施した介護授業風景の紹介
 ④ ワークショップ（折り紙でバラの花をつくろう—などを計画中）

【介護の日】介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため、国は、一昨年（2019年）から毎年11月11日を「介護の日」と決めました。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 実習センター（担当：木村）TEL:0575-24-9818（関キャンパス内）